

第 3 1 回理事会 議事録

1 開催場所

札幌市中央区北 5 条西 6 丁目 札幌センタービル 5 階会議室

2 開催日時

2020 年 4 月 15 日 (水) 10 時 30 分から 11 時 15 分まで

3 理事総数 10 名

4 出席の状況

| | | | |
|----|--------|-----|---|
| 内訳 | 理事(出席) | 9 名 | 濱田 康行、佐藤 厚、青木 次郎、佐藤 季規 瀬尾 英生、田村 修二、田村 亨、林 美香子 山崎 弘善 |
| | 理事(欠席) | 1 名 | 谷 一之 |
| | 監事(出席) | 1 名 | 末永 仁宏 |
| | 監事(欠席) | 1 名 | 山本 眞樹夫 |
| | 議事録作成者 | | 佐藤 厚(専務理事) |

5 定足数の報告

定刻に至り、濱田理事長が挨拶の後、理事 10 名のうち、過半数が出席しているので、定款第 4 1 条の規定により本理事会が成立している旨を告げた。

6 議案の審議状況及び議案別議決の結果等

次に、濱田理事長から定款 4 4 条第 2 項の規定により、議事録署名人を理事長、末永監事とする旨を告げて議事に入った。

第 1 号議案「2020 年度事業計画書(案)について」及び第 2 号議案「2020 年度収支予算書(案)について」の件

第 1 号議案及び第 2 号議案については密接に関連することから、一括して審議を行うこととし、佐藤専務理事より資料 1 に基づき事業計画に関して説明を行った後、谷部長より資料 2 に基づき収支予算に関して説明を行った。

本件に関して、末永監事から寄附金の受入れ財産区分に関して質問があり、谷部長から指定正味財産として受入れた後、一般正味財産に振替える旨を説明した。

また、瀬尾理事から地域経営塾については 2050 年を見据えるという視点が重要であることや、広域情報誌の支援の必要性、地域づくり活動発掘・支援事業の助成金に関して質問があり、佐藤専務理事から、地域経営塾の参加者が活躍する時代が 2050 年頃になること、広域情報誌については現在は支援を継続している団体はないが、今後、再度支援する可能性があること、地域づくり活動発掘・支援事業の助成金については確実な事業計画のもとで引当てを行っていく旨を説明した。

また、田村修二理事から、地域づくりには強いリーダーシップが重要であり、はまなす財団のような中立的な立場から地域の行政も含めた協力を求めることも必要である旨の意見があった。

また、林理事から広域情報誌の支援のあり方に関して質問があり、佐藤専務理事から基本的には広域的な情報誌について発行体からの要請があれば支援する旨を説明した。

また、青木理事から事業執行に係る新型コロナウイルスの影響に関して質問があり、佐藤専務理事からテレビ会議を活用など状況に応じて適切に執行していく旨を説明した。

また、瀬尾理事から新型コロナウイルスの影響を受けた地域への支援に関して質問があり、佐藤専務理事から新観協研の活動の中で、そうしたテーマについて議論していく旨を説明した。

その後審議の結果、第1号議案及び第2号議案については、原案のとおり出席理事全員一致で可決した。

第3号議案「事務局組織規程の改正について」の件

谷部長より資料3に基づき就業規程の改正について説明を行った。

本件に関して、佐藤理事から変形労働時間制と休日の規定に関し質問があり、谷部長及び佐藤専務理事から、規定されている休日を勤務日と交換するものであること、振替の場合は週40時間を超えると時間外勤務となるが、変形労働時間制では時間外勤務とはならない旨を説明した。

その後審議の結果、第3号議案については、原案のとおり出席理事全員一致で可決した。

報告事項「寄附金の募集について」の件

谷部長より資料4に基づき2020年度の寄附金募集の取組みについて説明を行った。

本件に関し、末永監事から賛助会費と寄附金の関係に関して質問があり、谷部長から賛助会費についても1社につき1件として寄附の実績となる旨を説明した。

7 その他

会議次第4「その他」に入り、理事長から理事及び事務局に発言等を求めたところ、谷総務部長から次回理事会の予定などについて説明し、その後特に発言はなく、理事長が「以上をもって本日の議事は全て終了した。」と宣言し、11時15分に理事会を閉会し、解散した。

上記の議決等を明確にするため、議事録署名人は、本議事録に署名、押印する。

2020年4月15日

公益財団法人はまなす財団 第31回理事会

理 事 長 濱 田 康 行 ㊟

監 事 末 永 仁 宏 ㊟